

献血にご協力を

時9月29日(日)、午前9時～11時30分・午後1時～2時40分
場保健センター
対体重50kg以上で、男性は17歳～69歳、女性は18歳～69歳の方 ※65歳以上の方は、60歳～64歳に献血の経験がある方のみ
他献血できない場合があります。事前に ID2247 を確認してください



神経系難病患者家族教室

時10月7日(月)、午後1時30分～3時30分
場清須市春日老人福祉センター大集会室（清須市春日）
定30人（先着）
対神経系難病患者の方とその家族
内パーキンソン病などの薬・治療に関する講話と交流会など
講北津島病院神経内科医 野島 逸
申9月9日(月)～30日(月)に、電話（☎052-401-2100）で県清須保健所へ
他当日、医療相談（予約制）も行います。詳しくは申込先に問い合わせてください



9月24日～30日は結核予防週間
まさか、私が結核なんて?!

感染症の一つである結核は、現在は治療できる病気ですが、今でも全国で1日に約32人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている重大な感染症です。令和5年の清須保健所管内では、患者の約8割が70歳以上の方で、高齢者に多い傾向です。高齢者の結核は、咳やたんがない場合もあり、体重減少や食欲不振などが主な症状となることも多くあります。
結核の早期発見のためには、毎年肺がん検診・結核検診で胸部レントゲン検査を受けることや、体調が優れない時は医療機関を早めに受診することが大切です。また、乳幼児は結核を発病すると重症化しやすいので、忘れずにBCG接種を受けてください。
問県清須保健所 ☎052-401-2100

からだ・こころ・暮らしの健康 健康フェスティバル

日時 9月29日(日) 午前9時～正午・午後1時～3時
※入場は午後2時30分まで

場保健センター

主な催し

- ◆心肺蘇生法とAEDの取り扱い体験コーナー
- ◆手洗い実験&あわあわゴッシーのうた♪
- ◆薬物乱用防止広報車の展示・説明
- ◆親子でからだを使って遊ぼう♪（午前のみ）
- ◆ゆったりすっきりストレッチ&リズムで楽しく（午後のみ）
- ◆薬剤師コーナー（午前のみ）
お薬相談、キッズ薬剤師体験
- ◆ヘルスメイト・名古屋文理大学コーナー
- ◆健康チェックコーナー
- ・からだ不思議コーナー
ABO式血液型検査（定員は午前60名・午後50名。9月1日(日)午前10時～25日(水)午後11時59分に、下記二次元コードから申し込み）、医師健康相談
- ・歯科コーナー
歯科健康診査
- ◆ニュースポーツ体験会（午後のみ）

※内容は変更となる場合があります

●チャレンジラリー
◆のイベントに3つ以上参加すると景品をプレゼント



骨粗しょう症検診
ID2277

時11月9日(土)、午前8時30分～11時15分 ※時間の指定はできません
場保健センター
対市内在住で検診時、15歳以上の方（今年度、「節目で見直そう！女性健診」を受けた方と中学生は除く）
定240人（抽選）
¥500円（70歳以上の方、65歳以上の後期高齢者医療受給者、生活保護受給者は無料）
申9月9日(月)～17日(火)（必着）に、往復はがきの往信裏に住所・氏名・性別・生年月日・電話番号を、返信表に住所・氏名を記入の上、健康推進課へ。9月24日(火)に抽選の後、結果をはがきでお知らせします。空きのある場合は、10月7日(月)から電話で健康推進課へ（先着。1回の電話で3人まで受け付け）

各種相談・教室

※全て無料。祝休日を除く

名称	日時	場所	内容	その他
健康相談	水曜、午前9時～11時	保健センター	保健師による相談	母子健康手帳・健康手帳のある方は持参。予約不要
	火曜、午前9時～11時	保健センター祖父江支所		
食生活相談	随時	保健センター	食生活に関する相談	電話予約が必要
医師健康相談	9月9日(月)、午後1時30分～3時		医師による相談	9月2日(月)までに電話予約が必要

名称	日時	場所	対象	内容
すくすく広場（身体計測の日）	10月2日(水) 午前9時30分～11時	保健センター	市内在住の乳幼児	保護者による身体計測、子育てネットワーカーによる親子遊び 持母子健康手帳
ママパパ教室	10月17日(木) 午前9時45分～11時30分		妊娠8カ月までの妊婦と家族	妊娠中の生活・栄養・歯科保健・保育の話 定40人（先着） 持母子健康手帳、筆記用具 申9月13日(金)～10月10日(水)に、健康推進課へ
離乳食教室	10月16日(水) 午前10時15分～正午		5～6カ月の子を持つ方	離乳食に関する講話・実演 定25人（先着） 持母子健康手帳、筆記用具 ※赤ちゃん連れの方は、おんぶひも・抱っこひもが必要 申9月9日(月)～10月9日(水)に、健康推進課へ

9月10日～16日は自殺予防週間
あなたの周りで悩んでいる人はいませんか

令和5年、全国の自殺者数は21,837人でした。日本の自殺率は世界の中でも高い水準にあり、1日に約59人が自ら命を絶っています。

悩んでいる人に気付き、声を掛け、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のことを「ゲートキーパー」といいます。私たち一人一人がゲートキーパーとしての意識を持ち、それぞれの立場でできることを進んで行うことで、尊い命を救うことができます。

- 気付き・声掛け・傾聴
眠れない、食欲がない、口数が少なくなるなど、「いつもと違う」様子はありますか。周りの人の変化に気付き、声を掛けたり耳を傾けたりしましょう。
- つなぎ
早めに専門家に相談するように勧めましょう。
- 見守り
温かく寄り添い、じっくり見守りましょう。「あなたの大切な存在である」と伝えることが生きる力になります。